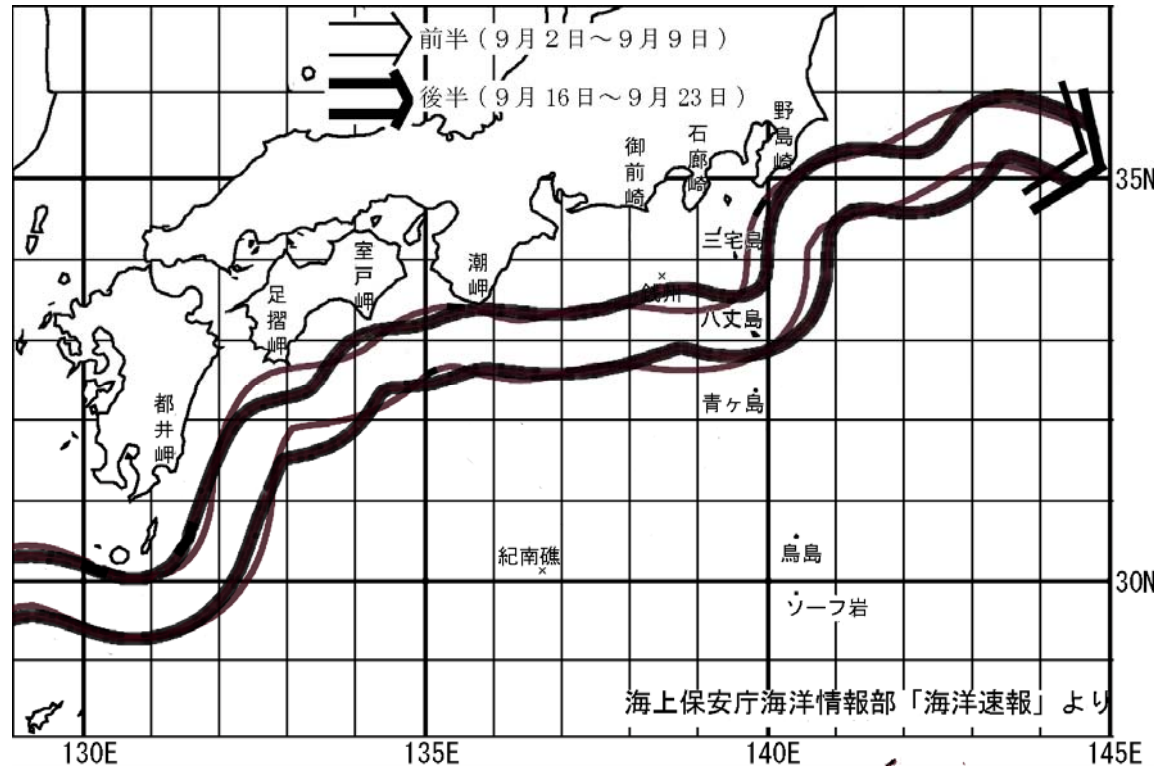


漁海況月報

平成22年 9月 1日

No. 9 ~9月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値(°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	26.3	26.1	25.7	24.9	28.1	27.0	26.7
	1.6	1.7	1.1	-1.1	2.4	1.5	1.2
中旬	25.2	25.5	25.3	25.0	25.4	26.1	25.0
	1.0	1.4	1.2	-0.1	0.5	1.6	0.3
下旬	24.7	25.3	24.8	24.8	24.8	24.4	23.3
	1.6	1.8	1.3	0.5	1.2	1.0	-0.3
月	25.4	25.6	25.3	24.9	26.1	25.8	25.0
	1.4	1.6	1.2	-0.2	1.4	1.4	0.4

【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬沖で接岸した後、土佐湾~室戸岬沖で小蛇行し、潮岬沖を接岸して流れた。その後、熊野灘沖で僅かに離岸し遠州灘沖 33° N付近を東進した。八丈島付近から 140° Eを北上し房総半島にかなり接近した後、北東へ流れた。

後半には、足摺岬沖を小蛇行が通過し前半よりも10マイル以上離岸した。また前半の土佐湾沖の小蛇行は発達することなく紀伊水道沖へ移動した。潮岬通過後、遠州灘沖 33° N付近を八丈島付近まで東進し 140.5° E付近を北上したが、前半の熊野灘沖での離岸が遠州灘沖へ移動したため駿河湾沖では接岸傾向を示し、前半よりも御前崎沖で5マイル、石廊崎沖で20マイル接岸した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では22~28°C台、駿河湾の東部では22~29°C台、西部では21~28°C台で経過した。全般に平年並み~高めで経過したが、駿河湾東部の雲見では平年並~低めであった。相模湾側では上旬前半および20日前後に、駿河湾側では上旬に平年差+2°C以上が継続した。

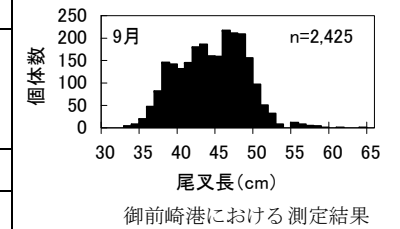
【竿釣近海カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は83トで前年同期を上回った。魚価は347円/kgで、前年同期を上回った。

静岡県近海では32° N、140° E付近のスミス、ハロース等で、小(尾叉長43cm、46cmモード、極小(尾叉長38cmモード)中、チンカツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
22年9月上旬	33	9	3.7	407
中旬	32	10	3.2	232
下旬	18	11	1.6	445
22年9月計	83	30	2.8	347
21年9月計	61	27	2.3	335
20年9月計	60	19	3.2	313



【定置網】

平成22年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は192トンで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量27.4トンは前年54.6トン(7漁場)の50%、平年値(昭和57~平成21年)46.5トンの59%であった。水揚量の減少には、9月10日以降、川奈漁場が大雨による流木漂着の被害のため操業できなかったことも影響している。

魚種別水揚量は、①サバ類81.5トン(A:前年同月比66%、B:平年同月比62%)②ヤマトカマス28.4トン(A:109%、B:119%)③イサキ15.0トン(A:142%、B:163%)④マアジ14.4トン(A:210%、B:48%)⑤モロ6.6トン(A:152%、B:70%)の順であった。

サバ類はゴマサバ主体で伊豆山、北川、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは28cmであった。ヤマトカマスは伊豆山、北川を中心に入網し、尾叉長のモードは26cmであった。イサキは富戸、古網を中心に入網し、尾叉長のモードは17cmであった。マアジは谷津、伊豆山、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは16cmであった。モロは富戸、伊豆山を中心に入網したが、魚体測定を実施測定していない。

漁場別水揚量は、伊豆山52トン(サバ類、ヤマトカマス、マアジ中心)、北川41トン(サバ類、ヤ

マトカマス、スルメイカ中心)、富戸 31 トン (サバ類、イサキ、モロ中心) の順であった。

【サバたもすくい・棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ 682 トン (前年同月比 167%) が水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 32.5 トン/隻 (前年同月比 96%) であった。ゴマサバの平均単価は 36 円/kg で、前月 (42 円)、前年同月 (38 円) を下回った。

棒受網の漁場は、月を通じ三宅に形成された。棒受網では、尾叉長 26cm モードのゴマサバ 1 歳魚 (2009 年級群) が漁獲の主体となり、23cm、33cm モードのオアカムロも混獲された。たもすくいは、棒受網と同漁場で同魚体を中心に操業した模様。

小川港 サバ類 (たもすくい・棒受網) 水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
22年9月上旬	0	345	5	11	0.0	31.4	—	35	三宅
中旬	0	265	3	8	0.0	33.1	—	37	三宅
下旬	0	72	1	2	0.0	36.2	—	36	三宅
22年9月計	0	682	9	21	0.1	32.5	—	36	—
21年9月	0	409	7	12	0.0	34.0	—	38	三宅
20年9月	0	816	12	24	0.0	34.0	—	51	三宅 三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 686kg、遠州灘が 558kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 599kg と前年同期 (362kg) の 165%、平年同期 (過去 5 か年平均: 383kg) の 156% と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は 1,556.9 トンで前年同期 (767.1 トン) の 203%、平年同期 (842.8 トン) の 185% と、前年同期、平年同期を上回った。平均単価は 449 円/kg と平年同期 (708 円/kg) を下回った。

シラス水揚量 (主要 6 港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	92.2	18	218	423	437
舞 阪	416.0	19	847	491	504
福 田	326.6	18	485	673	375
御前崎	141.5	17	201	704	370
吉 田	290.5	18	429	677	391
静 岡	290.1	19	418	694	553
平成 22 年 9 月計	1,556.9		2,598	599	449
平成 21 年 9 月計	767.1		2,117	362	631
平成 20 年 9 月計	538.6		1,857	290	863

【まき網】

小川港ではマイワシが 18.7 トンの水揚げで平年同期 (42.1 トン) の 44.4% であった。沼津港では、マイワシが 47.3 トンの水揚げで平年同期 (42.7 トン) の 110.8% であった。カタクチイワシの水揚げはなかった (平年同期 1.4 トン)。静浦港では、マイワシが 0.2 トンの水揚げで平年同期 (4.3 トン) の 4.4% であった。カタクチイワシの水揚げはなかった (平年同期も水揚なし)。伊東港ではマイワシが 64.5 トンの水揚げで、平年同期 (12.9 トン) の 5.0 倍であった。

注) 平年同期: 過去 5 か年 (2005~2009 年) 平均

【調査船の動向】

駿 河 丸

9月 1日	～	9月 3日	地先定線観測	(3日間)
9月 6日	～	9月 7日	サクラエビ IKMT・タチウオ調査	(2日間)
9月 9日	～	9月 10日	サバ標識放流調査	(2日間)
9月 13日	～	9月 14日	短期海況・サクラエビ産卵・タチウオ調査	(2日間)
9月 17日			ドック回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

